令和７年度　議会報告会　５月27日　４地区同時開催

≪身近な議会の集い≫

各地区への報告と意見交換会

いただいた貴重なご意見は今後の議会活動に活かします

坂地区

シモハナ Hall

参加者数	25人
担当議員	光岡　議員
	縫部　議員
	岡村　議員

報告内容

①坂地区主要事業説明
・県道坂小屋浦線および坂東環状線の進捗状況
・坂地区の道路改良工事（浜田中洲線・西側2号線・久保田川線ほか）
・坂東防災空地整備工事
・帯状疱疹ワクチン接種
②議員報酬の見直し

質疑応答

Q. 副町長を置かないのはなぜか。

A. 重要施策の実現のため、素早い意思決定と迅速な事業展開を図るためと聞いている。
ワンマンな町運営にならないよう議会としてチェックする。

Q. 北新地から平成ケ浜に架かる予定だった橋は。

A. 引き続き機会を見て話題に出したい。

Q. 議員報酬は、任期が増えるごとにもっと上げては。

A. 条例で定められており難しい。

意見箱

・議員報酬の引き上げには賛成である。
・議員報酬の引き上げと合わせて議員定数の削減が大事である。
・議員報酬について、議会でどのように検討し、どのように執行部へ提出するのかをもっと聞きたかった。

平成ケ浜地区

町民センター

参加者数	14人
担当議員	柚木　議員
	向田　議員
	池脇　議員

報告内容

①平成ケ浜地区主要事業説明
・県道坂小屋浦線整備
・町民ひろば外壁等改修
・町営住宅維持管理
・県営住宅前のバス停（屋根とベンチの設置）
・坂駅北口駐輪場（屋根の設置）
・帯状疱疹ワクチン接種
②議員報酬の見直し

質疑応答

Q. 循環バスの運転が荒い時がある。

A. 早急に担当課に伝える。

Q. 中央公園に砂利が投げこまれ困っている。

A. 公園利用者のマナー改善を含め、担当課に対応を依頼する。

Q. 学校給食費の無償化は、今後どうなるのか。

A. 現在のところ、恒久的な対応とはなっていない。

意見箱

・良い話が聞けてよかった。
・住民の活発な意見があり、おもしろみのある報告会だった。
・参加人数が少なかったのは残念だった。

横浜地区

横浜三部集会所

参加者数	21人
担当議員	奥村　議員
	中川　議員
	末吉　議員

報告内容

①横浜地区主要事業説明
・横浜一部17号線整備
・横浜三部2・6号線、浜田中洲線、植田水尻側道線道路改良工事
・水尻防災公園整備
・横浜排水区雨水排水路改良工事
・帯状疱疹ワクチン接種
②議員報酬の見直し

質疑応答

Q. 議員定数は12人のままなのか。

A. これまで18人から12人に減らしたが、これ以上の定数減は行政への発言力が低下するなど、問題があると考えている。

Q. 17号線の整備は、海側に下る道を考えているのか。

A. 既存の農道を鯛尾地区まで接続する検討をしたが、鯛尾バス停側の高低差が大きく、困難であると町側から聞いている。

意見箱

・議会から町へどのような要望を行い、町からどのような回答を得たのかを報告してもらいたかった。
・大変なことも多いと思うが、将来へのまちづくりを考えてもらいたい。
・各事業が簡潔に説明され、分かりやすかった。
・ダラダラすることなく会が進行してよかった。

小屋浦地区

小屋浦ふれあいセンター

参加者数	35人
担当議員	川本　議員
	安竹　議員
	折中　議員

報告内容

①小屋浦地区主要事業説明
・公営住宅等整備
・道路メンテナンス・橋梁補修（藤向橋）
・道路改良工事（小屋浦四丁目1・2線）
・急傾斜地崩壊対策（西谷A地区・向田北地区）
・向田ポンプ場修繕
②議員報酬の見直し

質疑応答

Q. 四丁目の1・2線の道路を作る目的は。

A. 1線は周辺の土地活用、2線は道路狭隘解消のためである。

Q. 国道31号の横断の利便性を。

A. 再開発が進めば、その都度、議会から要望する。

意見箱

・空き家対策を。
・不登校児童生徒への惜しみない施策と支援を。
・国道31号に右折レーンを。
・小屋浦にスーパーを。
・若い人が議員になれるような議員報酬を。
・安全で充実した教育環境の整備を。
・小屋浦へ保健センターと病院を。